

自分で調べるということ

田 嶋 優*
m7622026@edu.kit.ac.jp

私は2016年度から情報科学センターの自習室の指導員として勤務しております。指導員の勤務内容は主にPC・プリンタの利用相談なのですが、中にはExcelの関数の使い方といった、PC内のソフトの使い方をご質問される方がいらっしゃいます。他にもインターネットで調べればすぐ解決しそうな質問をされる方がいらっしゃいます。対応をされていて面倒だと思ったことはありませんが、インターネットで調べればすぐ出てくる内容をどうしてご質問されるのか、と考えたことがあります。

ここ数年、検索エンジンの発達により、「ハッキング」から「今晚のおかず」といったことまで、様々な情報を調べることが簡単になってきました。単語の意味を調べることや、単語を知らなくてもそれにまつわる言葉だけで目的の物を調べられます。もちろんその中にはExcelの関数の使い方もあります。一方で検索エンジンの向上により調べることが可能となった情報が膨大となり、欲しい情報を調べることに知識や技術といったものが必要になってきています。

検索における知識というのはAND・OR・NOT検索といった検索エンジンそのものの使い方の事です。

次に技術についてですが、例えば、ExcelのCOUNTIFS関数の存在を知らなくて、複数の検索条件に一致するセルの個数を返す関数を調べたいとします。ここで、どのような単語で検索エンジンで検索するかを考えると、一つに「Excel関数」といった大雑把な調べ方もできると思いますが、もう一つに「Excel 関数 複数条件 個数」といった細かな単語を指定をする調べ方もあります。他には「Excelで複数の条件に一致するセルの個数を調べる関数」といった文で調べる方法があります。2つ目の検索方法をとる人が多数であると考えられますが、実際、1つ目、3

つ目の方法を普段パソコンや携帯でインターネットを使わない方で検索する人がいらっしゃいます。しかし、1つ目は目的の情報を手に入れるために膨大な量の情報の中を探す必要があり、3つ目の方法は文がそのままHitするか、それに似た文章がない限り、欲しい情報が手に入りにくい。（*1 自然文検索というのが最近開発されているが実装されている一般的な検索エンジンはない。）こういった検索エンジンの特徴を把握して調べるのを技術と私は考えています。

これら知識、技術は欲しい情報を手に入れるには必要なことですが、現状、それを知る手段はほとんどなく、検索を行う技術を学ぶ場が今後必要になってくると私は個人的に思います。

さて、次に、検索することに慣れてくると、世界のあらゆることが簡単に調べることができ、自分が勉強しなくても、覚えていなくても調べればなんとかなる、と考えている人は多いかと思えます。私もそのタイプでしたが、ここ最近はこの考え方を疑問に感じております。というのも、持っている知識の量によって調べられる知識の範囲が変わってくるからです。というよりも、そもそも知識を持っていないと調べることすらままならない、という単語で調べればよいのか分からないことが多いです。また、欲しい情報が日本語で書かれているとも限りません。そのため語学の勉強も必ず必要になってきます。そういった意味で勉強は未だに必要になってくると考えています。

最後に、最近ではなんでも検索すれば出てきます。そのなんでものためには調べる方法を知る必要があります。そしてその調べるにも検索するための知識や技術、そしてそもそもの知識が必要になってきます。また、こういった能力は学生にだけでなく、社会人になって必要になってきます。これからの情報教育には調べる方法や勉強の必要性を説く必要があるのではないのでしょうか。

* 博士前期課程 情報工学専攻